



BANK OF JAPAN



2019/3/13

スマートSME研究会第3期

資料5

# FinTechサービスの現状

---

## SMEにとってのポテンシャルはどこに？

日本銀行 FinTechセンター長

副島 豊

# FinTech 私見

## IT : Information Technology

→ 技術を使って仕事を効率化、手段

## FinTech : Finance + Technology

→ 技術を使って新しいビジネスの**創造**、手段 + **目的**

- 情報の活用：あらゆる事象（自然、社会、企業・個人行動）がデジタル化され、ストックされ、分析・マネタイズの対象となる
- 顧客を知る + 顧客が知らないサービス・体験を提案する
  - **“User in” vs. “Product out”**
- 個人向けはスマホというインターフェイスが主戦場
- FinTech活用には、企業内文化の変革が伴う（仕事の仕方やビジネスモデルを変える覚悟）

# FinTech応用分野の事例：B2Cビジネス

## 決済・消費

- スマホ決済や個人間送金のようなキャッシュレス決済
- 決済・販売データを使ったマーケティング（ECプラットフォーム、POSやIoTなどのインフラ：だれが・いつ・どこで・何を・いくら）、決済は顧客接点
- 資金プール（プリペイド資金等）や顧客プールの活用
- ネットを活用した需給のマッチング

## 資金管理、投資

- 家計簿アプリによる個人の資金・資産管理サービス
- 金融投資を身近なものにしてくれるスマホ資産運用サービス、ロボ運用・トピック運用、ポイントビジネスとの連動
- スマホというチャンネル：SNS等のプラットフォームで保険や金融商品販売

## 金融サービス

- 決済サービスの延長で登場している短期少額融資、信用スコアリング
- チャットサービスの活用（コスト削減、24/7対応、心理的ハードル引下げ）

## 情報ビジネス

- 個人情報バンクなど情報の収集・結合・配信サービス

**“Nudge”**

# FinTechの主な応用分野：B2B、企業内利用

## 決済・経理

- 経理や資金繰り、金融・税務業務の効率化 ← デジタル化、商流情報活用、クラウド会計サービス
- 業務プロセスやビジネスモデルの見直し

## 業務自動化・情報化

- RPAによる定型業務自動化、チャットボット等での顧客対応
- 情報の収集と金融との統合：経済活動・空間情報・移動情報・画像・音声・受注・イベント・世論・流行

## 借入・金融サービス

- データによる与信判断、受発注段階での電子記録債権化
- 貿易金融の書類の電子化、ブロックチェーンでの管理
- 資金需要と出し手のマッチング、クラウドファンディング
- ノンバンクの金融サービス +  $\alpha$ （非金融ビジネスとの融合） Bizマッチング
- 地域通貨の域内流通と付加価値の付け方

## 経営判断支援

- 見える化（意思決定迅速化、合理化）
- 周辺Techとの連動：規制Tech、物流Tech、人事Tech、不動産Tech、X-Tech（クロス） 4